

福島第一原子力発電所 H5 タンクエリア脇 プラスチックタンクからの水漏れについて (4/14 17:30更新)

< 参考資料 >
平成26年4月14日
東京電力株式会社

4月13日午前8時40分頃、タンクエリアパトロールにおいて、H5タンクエリア脇(北側)に設置されているプラスチックタンクより水が漏れいていることを協力企業作業員が発見。

漏れいはタンクにキズがあった箇所から発生しており、開口部を養生するとともに、タンク下部に枕木をあて、キズの箇所が上向きとなるよう処置を行った。

漏れいした付近の土壌は回収を実施済み (回収量 : 約 8 m³)

プラスチックタンクの容量は1 m³。

漏れい範囲は当該タンク周囲。
(約15m × 約3mにおける1 / 4程度の範囲)

周囲に側溝が無いことから、海への流出はないものと考えている。

概要

< 漏えい量 >

最大1m³

漏えい範囲の土壌回収作業を実施中。

漏えい範囲を確認し、近くに排水路がないことから、海への流出はないと考えている。

< 漏えい水の表面線量率 >

バックグラウンドと同等 (0.04mSv/h)

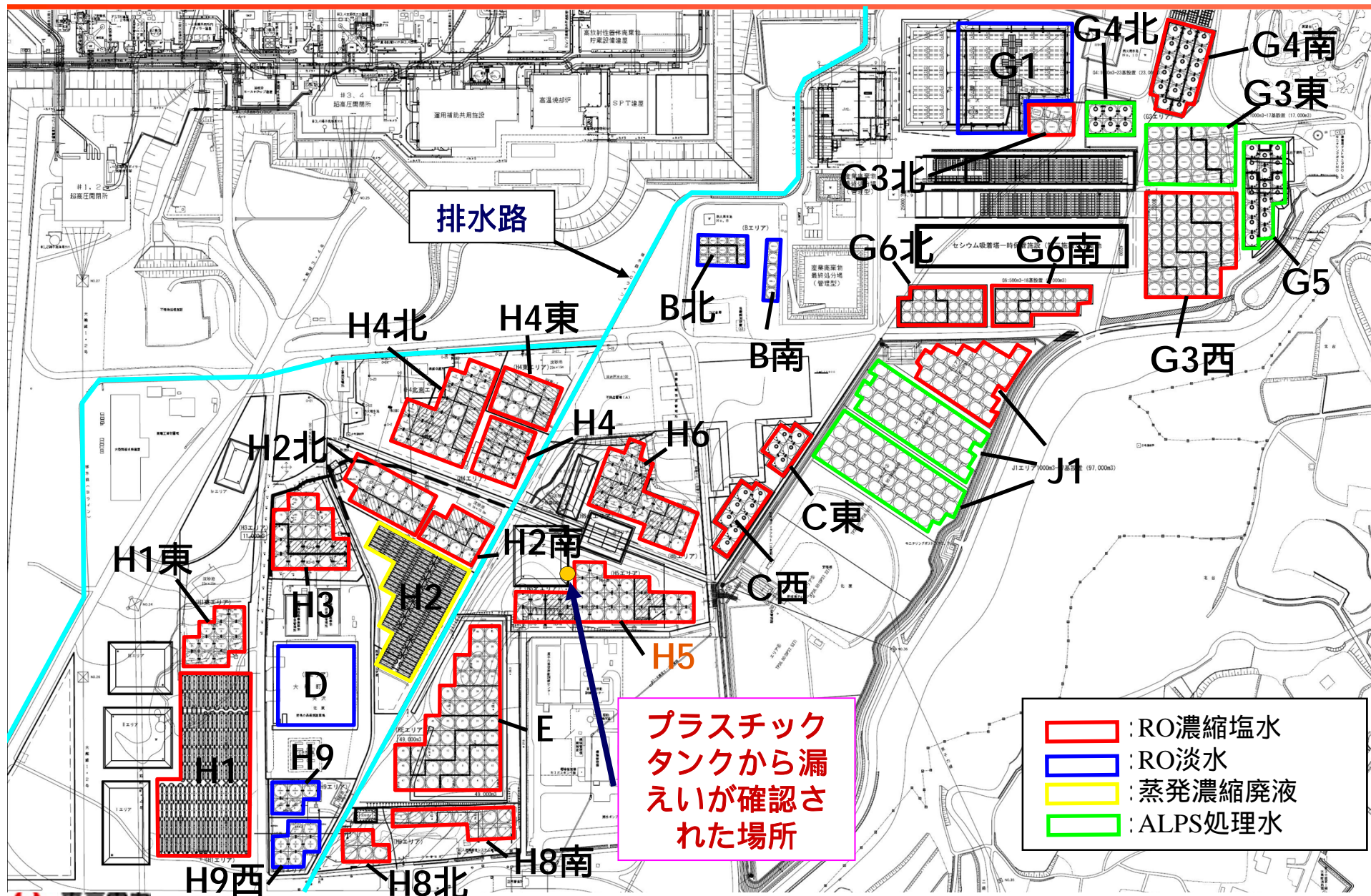
< 漏えい水の分析結果 > (タンク内残留水(懸濁)を分析)

- ・セシウム134 : 440Bq/L
- ・セシウム137 : 1,200Bq/L
- ・全ベータ : 1,400Bq/L
- ・ストロンチウム90 : 11Bq/L

< 原因 >

調査中

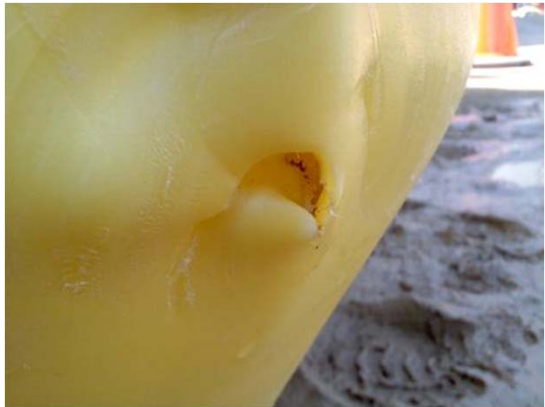
構内タンク配置図



状況



発見時の状況



傷口の状況



漏えい範囲

<当該タンクについて>

当該タンクは、平成25年末頃、堰内塗装作業に先だって実施した堰内洗浄の際に、雨水のたまった堰内からの回収水（床面上の泥を含む）を貯留していたもの。

その後、引き続き堰内の洗浄等で使用する可能性があったことから、そのまま当該タンクを設置していた。